

# 令和5年度第1回地域連携担当者研修会

5月9日（火）

情報提供「令和5年度協働教育の方針」

説明：気仙沼市教育委員会生涯学習課  
南三陸町教育委員会生涯学習係



「コミュニケーションのコツ！ ～自己理解と他者理解～」

講師：みやぎ子ども教育支援ネットワーク協議会みずとわ 赤川 泉美 氏



## 【受講者の声】※抜粋

- ・毎回、さまざまな演習を用意していただき、感謝している。「これを子供たちとしたら。」と思うことが多々あった。「コミュニケーション」というが、様々な人がいることを尊重し、一人一人を大切にすることだと感じた。
- ・日々の打合せが十分にできていない中、本研修は大変意義のあるものと感じた。コミュニケーションカードはとても興味深く、日々の実践にぜひ活かしたいと思う。
- ・コミュニケーションカードは、職場でも地域でもどんなグループにおいても自己理解や他者理解につながると感じた。地域みんなで「Will」や「Must」を話し合い、そこから「Can」を見つけて1つずつ実現させていけたら楽しいし、地域づくりにつながると思った。その中に学校も一緒に入ってやっていきたい。
- ・事例の閑上公民館の取組が次々とながっていることが分かり、とても素晴らしいと感じた。学校と地域がよりつながるために、公民館の役割の大きさを感じた。今後も担当として連携していきたいと思う。
- ・地域ごとに分かれて情報交換ができたのでよかった。公民館をどう活用できるのかよく分かっていなかったが、今後すぐにでも連携を取りたくするような内容の話聞くことができた。
- ・今年度、異動したため、新たな環境での地域連携担当となった。連携していく同じ中学校区の担当者の方々と顔合わせができてよかった。
- ・初めて、この研修会に参加したが、同席となった公民館職員の方々のお話を聞いたこともとてもよかった。また、赤川さんの講話では、閑上公民館の取組の素晴らしさに感心した。
- ・年々、公民館職員と学校の教員の関係がよくなっているように感じる。継続して研修を行っている効果だと思う。
- ・閑上地区のことについて、深く分かったのが良かった。閑上には何度も行っていたので、復興（コミュニティー）の様子が伝わってきた。
- ・この時期に開催していただけると、顔合わせになるので大変助かる。
- ・同じ地区の学校の担当者との懇談する機会があってよかったと思う。人口減と高齢化が急激に進行している地域の公民館事例を聞く機会も設定してほしい。

